

### 自動車の革新的な技術進化に乗り遅れないために

自動車業界は今、“100年に1度の大変革期”の真ただ中にあります。この「大変革期」に不可欠なキーワードの1つとして「SDV: Software Defined Vehicle (ソフトウェア・デファインド・ビークル)」が挙げられます。今後の自動車の革新的な技術進化と、“SDVの時代に求められることとは何か”、“AUTOSAR”とはどういった関係か”といった点について解説しました。

### SDV時代の価値進化とその背景

SDVでは「ソフトウェア更新による価値の持続的進化」という手段を重要視します。しかし、その価値進化を支える為には、**価値と要件に紐づいた高い抽象度の論理アーキテクチャへ立ち返ることが重要です**。トップダウンの視点で矛盾・競合を整理する機会を持つことで、システムの構築に効果的です。また、車載ソフトウェアが億行規模に達したとしても、上位レイヤの視点を取り入れることで、開発の筋が通り、**拡張性・保守性・説明可能性が高いアーキテクチャへと導きやすくなります**。その流れが生み出す進化の具体例として、**ECU統合は前向きな構造改革のきっかけになりえます**。

### AUTOSARとは？

“CP”と“AP”の2システムを持つ、車載ソフトウェアの標準アーキテクチャ(2003年設立)です。「再利用・自動化」を促進する“enabler”として、SDVには欠かせません。

#### CP (Classic Platform)

- C言語/静的OSベース、リアルタイム性、量産車で広く実績
- SW-C、RTE、BSWの三層構造でECU内動作を標準化

#### AP (Adaptive Platform)

- POSIX・C++/Rust・HPC用途、動的更新やサービス指向通信に対応
- ARAのFC (Functional Cluster) により機能をモジュール化

### SDV時代に求められること

#### ①標準化・協働・再利用の徹底

- 業界全体で共通基盤を使い、貢献し合うことで持続可能なSDV開発の実現
- Variant管理・アップデート能力を前提とした、再利用による長期運用

#### ②自動化 (CI/CD・DevOps) の高度化

- 情報を型化し、文書化・分析・コード生成・検証の機械処理を進行
- Frontloading (前倒し) と仮想化・並列化により、高速かつ高品質な開発を実現

#### ③AUTOSARの活用・標準化

- SDVの基盤となる、再利用・自動化を支える仕組み

### eSOLからのお知らせ

2026年1月より ETAS社のAUTOSAR製品の取り扱いを開始します。サービス範囲を拡大し、AUBISTだけではカバーできない領域に対応しました。AUTOSAR関連で、より幅広い支援が可能になりました。

### 半導体メーカーの取り組み

#### ルネサスエレクトロニクス社 RH850製品プラットフォーム

- AUTOSAR MCAL SWコンポーネント、MCALサポートデバイスの紹介
- -E/Eアーキテクチャの進化に伴い、Zone及びDomainとZoneのHybridに対応したRH850ファミリ32ビット車載用MCU製品

#### ■ 本日の登壇者 ■



イーソル株式会社  
ビジネスマネジメント本部  
ソリューションアーキテクト、  
Safety/AUTOSAR  
シニアエキスパート  
櫻井 剛氏



株式会社リョーサン  
デバイス第一事業本部  
技術支援部  
上滝 聡



出所：投影資料より一部抜粋

[他記事、ウェビナ情報はこちら](#)



エンジニアによりそうマガジンサイト